第３回
焼津市下水道使用料等審議会

令和４年10月21日（金）午後２時
水道庁舎２階　災害対策室

目次

1. 前回の振り返り
    - 1-1.　令和５年度の改定率　P3
    - 1-2.　焼津市の使用料体系　P7
2. 下水道使用料の使用料体系について　P12

1. 前回の振り返り

1-1. 令和５年度の改定率

改定率の設定 ～改定の目標と3つの指標～

目標	**経費回収率100％ ＝ 使用料単価150円／㎥** **（10年間に２回の改定を行い、２回目で目標を達成）**

次の**３つの指標**をもとに、
下水道事業の健全な経営を維持できる改定率を検討しました。

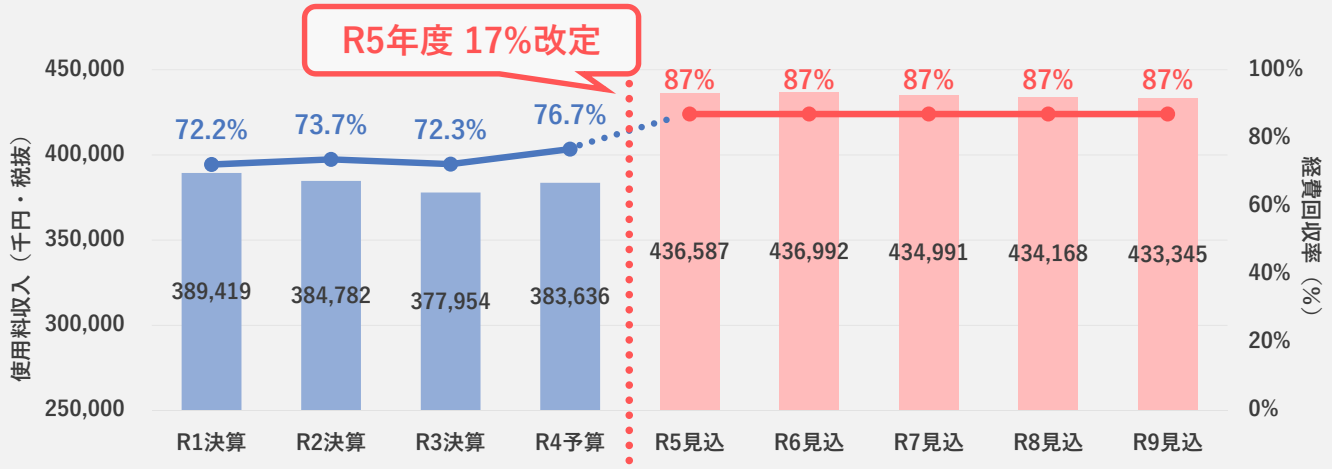
① ２回目の改定後に**経費回収率100％**を達成する
② **現金残高（運転資金を除く）**がマイナスにならない
③ **一般会計繰入金（収支不足補填分）**が発生しない

令和５年度の改定率

２回目の改定率については、令和９年度開催予定の審議会で改めて検討

案	**A案（第２回審議会で決定）** **１回目：17%，２回目：14.5%**	**B案** **１回目：15%，２回目：16.5%**
設定方法	• **経営戦略に基づき２回に分けて改定** • １回目R５年度。２回目R10年度 • １回目と２回目の**改定額を均等**にした案	• **下水道事業の健全な経営を維持できる最低限の改定率** • **使用者の負担を可能な限り軽減** • Ａ案をベースに**１回目の改定率をＡ案より低い15%**とした案
特徴	• **経費回収率は87%**まで改善	• Ａ案に比べて**１回目の改定額は小さく**なるが、**２回目の改定額は大きく**なる • **経費回収率は86%**まで改善

改定後の使用料収入と経費回収率の推移



- 使用料改定により**経費回収率は87%まで改善**する
- 改定しない場合と比較し、使用料収入は**５年間で約3.1億円増加**する

1. 前回の振り返り

1-2. 焼津市の使用料体系について

焼津市の下水道使用料

- 料金徴収区分は**一般汚水**と**公衆浴場汚水**の２分類
- **基本使用料**に**従量使用料**を加算する**二部使用料制**
- 汚水排除量の増加に応じて使用料が高くなる**累進使用料制**

表：公共下水道使用料体系（１か月あたり・税抜）

汚水の種類	基本使用料（10㎥まで）	従量使用料	
		汚水排除量	使用料
一 般 汚 水	1,028円	10㎥を超え100㎥まで	103円／㎥
		100㎥を超え1,000㎥まで	121円／㎥
		1,000㎥を超える分	126円／㎥
公衆浴場汚水	1,028円	10㎥を超える分	52円／㎥

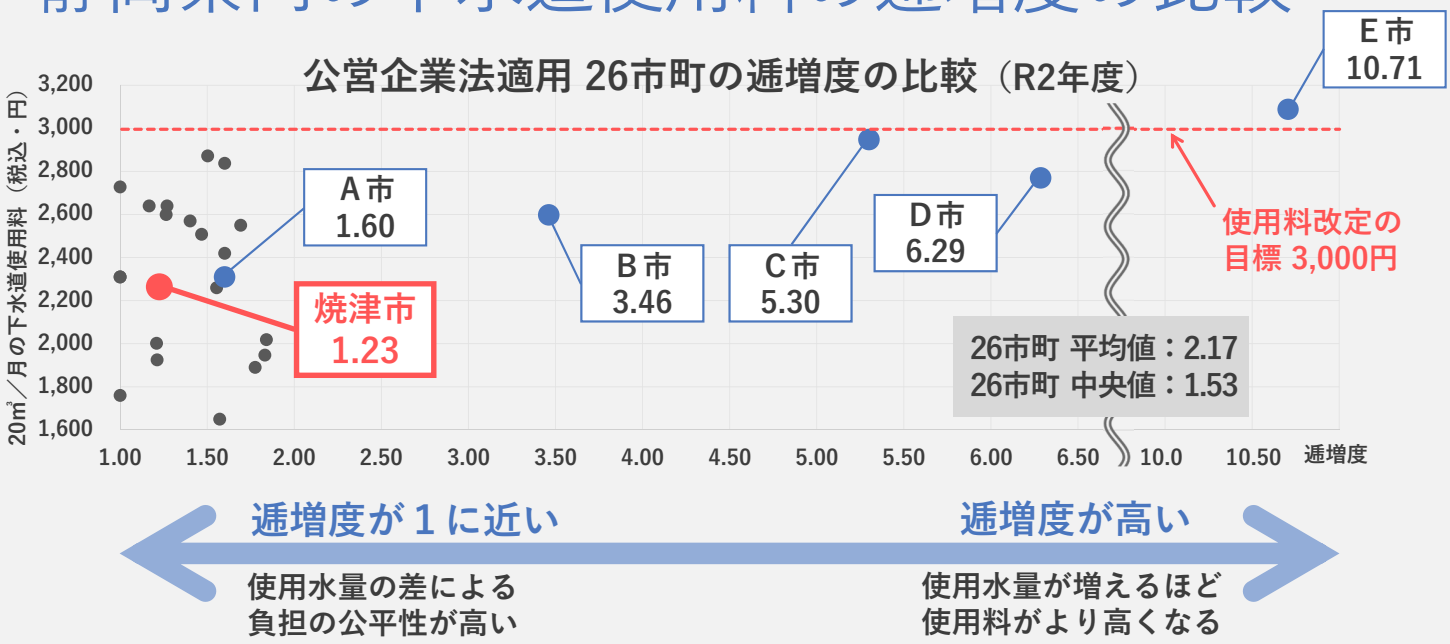
焼津市の水質使用料

- 基本的な使用料体系に加え、汚水の濃度によって使用料を加算する**水質使用料体系**を採用

表：公共下水道水質使用料体系（１㎥につき・税抜）

汚水の濃度		加算額	
		生物化学的酸素要求量	浮遊物質量
汚水１㍑中の生物化学的酸素要求量または浮遊物質量	200mgを超え300mgまで	10円	10円
	300mgを超え600mgまで	20円	20円
	600mgを超え1,000mgまで	40円	40円
	1,000mgを超え2,000mgまで	80円	80円
	2,000mgを超えたときは、1,000mg増すごとに	80円に60円ずつ加算	80円に60円ずつ加算

静岡県内の下水道使用料の逓増度（ていぞうど）の比較



一般汚水の基本使用料と従量使用料

令和３年度の一般汚水の下水道使用料収入は**377,954,103円**でした。

図：令和３年度 焼津市下水道使用料収入（一般汚水）の内訳（円）

- **基本使用料**
  使用料収入に占める**基本使用料の割合が高いと収入は安定**する
- **従量使用料**
  社会環境（人口の推移や節水社会の進行）や経済動向（景気の悪化）による**使用水量の変動の影響を受けやすい**

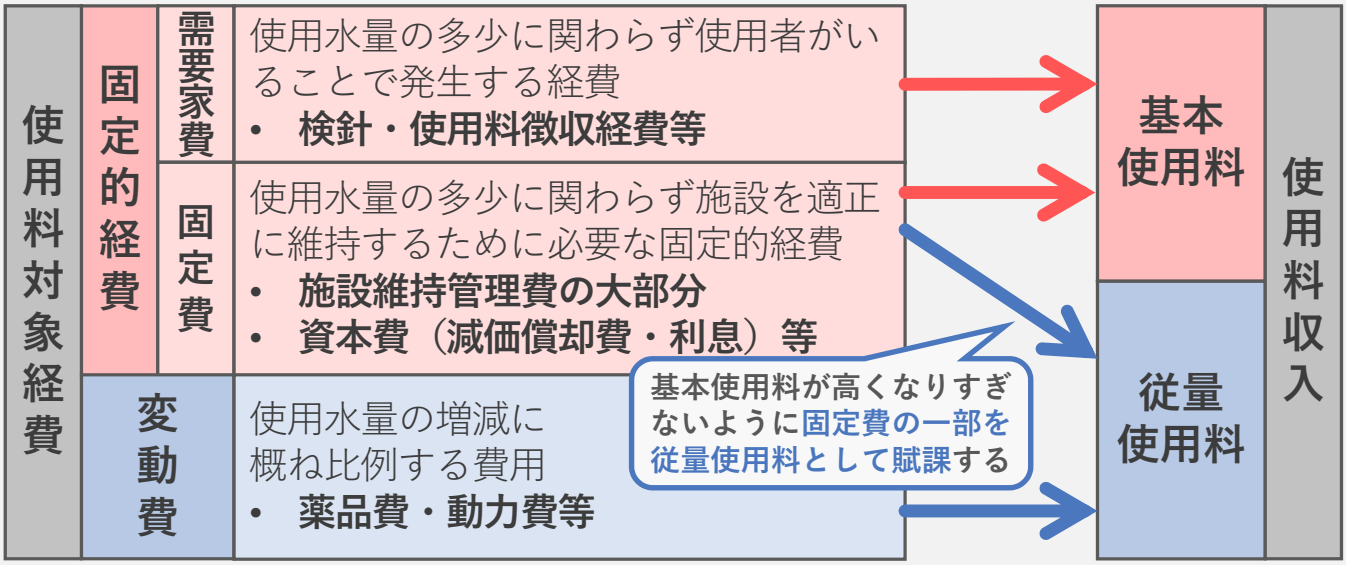
2. 下水道使用料の使用料体系について

一般汚水の使用料体系案の概要

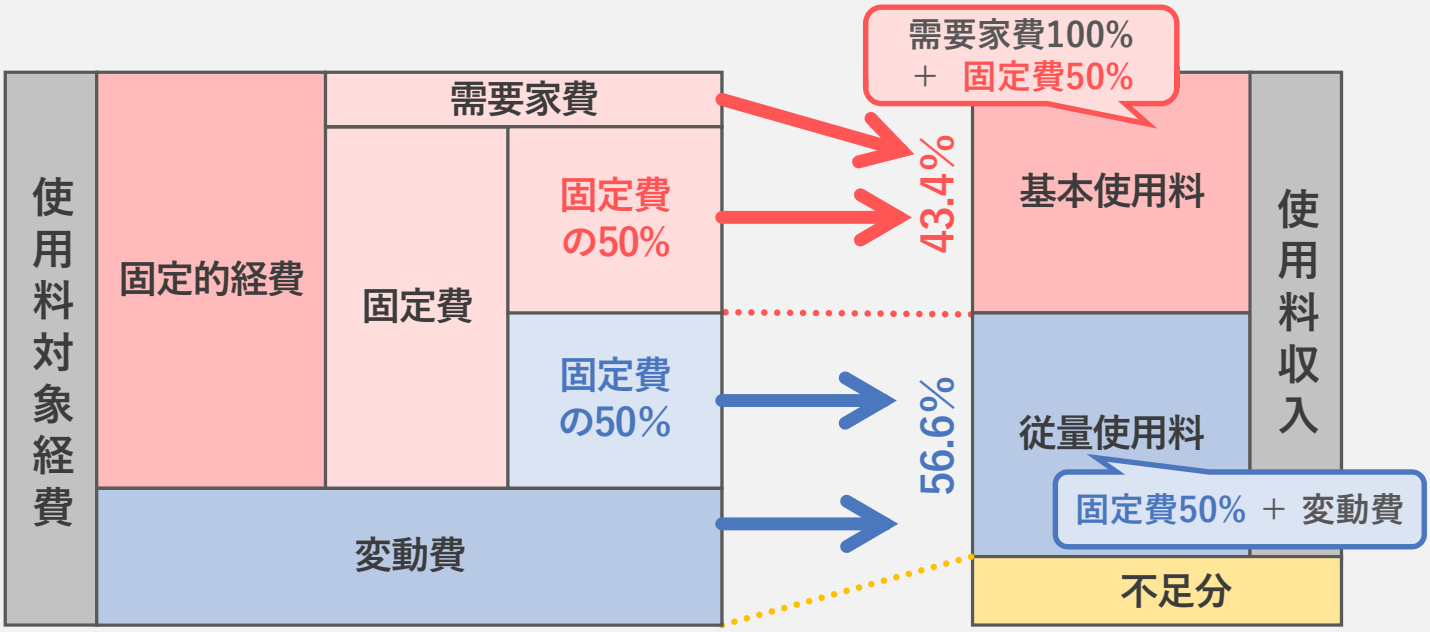
※B・C案はA案とD案の間の案

案	A案 基本使用料：17%改定 従量使用料：17%改定 基本使用料の占める割合：41.6%	D案 基本使用料：22.1%改定 従量使用料：13.4%改定 基本使用料の占める割合：43.4%
設定方法	• 基本使用料と従量使用料の改定率を均等にした案 • 前回、使用料改定率の審議で「試算」としてお示しした案	• 使用料収入の安定化を図るため基本使用料改定率を引き上げる • 上記の率は「固定費」の50%を基本使用料で賄う率とする
特徴	• 使用水量の多少に関わらず、全ての使用者の改定率が17%となる	• 使用料収入の安定化が図られる • 一般家庭の実質の改定率⬆ • 大口使用者の実質の改定率⬇

使用料対象経費と使用料体系



使用料体系案 Ｄ案の設定方法



公衆浴場汚水の使用料体系

- **令和３年度の実績 … 対象２件**
  有収水量：23,339㎥ （0.7%）， **使用料収入**：1,586,969円（0.4%）

表：公共下水道使用料（公衆浴場汚水）の推移（１㎥につき・税抜）

公衆浴場汚水の料金徴収区分		S54.12	S63.4	H5.4	H30.4
基本使用料	10㎥	530円	680円	910円	**1,028円**
従量使用料	10㎥を超える分	27円	34円	46円	**52円**

- 公衆浴場汚水の使用料体系の**設定方法は現行と同じ**とする
- **基本使用料 … 一般汚水と同額**
- **従量使用料 … 一般汚水の10㎥～100㎥の使用料の２分の１**

水質使用料

- 水質使用料は、現在、審議している一般汚水の使用料と考え方を別にするものであり、濃度が高い汚水を排水する者に対して加算するもの。
- 現状では、処理場で汚水をきれいにする設備や工程などに影響を与えていない。
- 下水道使用料に水質使用料を加算することは、排水の水質を改善する動機となるため、**単価は据置き、引き続き採用**する。

※投資・財政計画上、見込んでいない。